

港北力発見☆通信



発行：平成 23 年 1 月 港北区地域力発見プロジェクト 事務局 / 地域振興課地域力推進担当・福祉保健課事業企画担当
〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 26-1 ☎045-540-2247 FAX045-540-2245

港北区キャラクターミズキー

港北力発見☆通信 発行にあたって

港北区は「暮らしやすく活気にあふれる“ふるさと港北”を区民とともにつくります」を区政運営の基本目標にしています。そのために、区の魅力である豊かな自然環境や都心としての機能、地域人材などの資源を存分に活かし、区民が主体となって身近な地域課題の解決や魅力向上に取り組めるよう、きめ細やかな地域支援を行っていくことが必要であると考えています。

これまで、地域福祉の推進やまちづくり、防災・防犯対策など多くの場面で、地域のみなさまの力を発

揮していただけてきました。今後さらに地域の活動が充実していけるよう、①地域活動、市民活動間の情報交換②活動をしたと考えている人への情報提供や人材の育成③活動のPRの場として、広報誌『港北力発見☆通信』を発行することとなりました。

『港北力発見☆通信』では、区と地域が協働する取組をみなさまにお伝えしていくとともに、区民の方々からも情報をお寄せいただき、地域情報の交流の場としても活用していきたいと考えています。

協力し合って、住みよい地域に！ “身近な地域・元気づくりモデル事業”

「身近な地域・元気づくりモデル事業」とは

日常生活圏において、自治会町内会などの地域の団体が集まって、話し合いをしながら課題解決を図り、地域のみなさんが、自分たちが望む地域をつくっていく取組を支援するため、横浜市が、平成 19 年度から始めた事業です。希望する地域をモデル地区に指定して、取組を進めており、港北区では、日吉地区と太尾地区の 2 地区が指定を受けて活動しています。今回は、“太尾地区”の取組を紹介します。



小学生の「夢」フラッグ



ひったくり防止キャンペーン

区外からも注目される防犯活動

“太尾地区”では、地域住民による青色回転パトロールや防犯拠点センターの設置など、防犯対策を積極的に行われていました。また、防犯拠点センターが、みんなの居場所として、子どもから高齢者のまちの憩いの場、交流の場となるなど住民同士の結びつきが強い地区でもあります。

平成 21 年度には、“身近な地域・元気づくりモデル事業”のモデル地区に指定され、学校と地域が連携した「子ども 110 番の家」のマップづくりに取り組みました。太尾地区の防犯活動は、NHK の『難問解決！ご近所の底力』で取り上げられたことを始めとして、区内外で注目されています。また、こうした取組が評価され平成 22 年 10 月に安全・安心なまちづくり関係功労者として“内閣総理大臣表彰”を受けました。

新たな活動・夢のまちづくりへ

平成 22 年度は、連合町会、商店街が中心となり、大倉山を魅力あるまちにするため“大倉山夢まちづくり実行委員会”を設立し、まちの魅力や課題を発見しようとする取組を始めました。実際にまち歩きを行い、大倉山公園周辺の魅力アップについて関係機関と協働で検討を進めています。また、実行委員会を中心となり、大倉山記念館周辺の坂道の愛称募集、大綱小学校の六年生の描いた「私の夢」という作品をフラッグにして商店街に飾るなど大倉山の魅力アップに向けた取組を行っています。

「今後も大倉山の魅力アップのため、みんなで協力していきたい。」と大倉山夢まちづくり実行委員会の植木代表。今後も地域のマップ作成やサイン整備などさまざまな取組を予定しています。

「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指して・・・ “ひっとプラン港北”

ひっとプラン港北とは・・・？

「ひっとプラン港北」は、「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指して、区民の皆さんと区役所・区社会福祉協議会などが協力して進めていく福祉と保健の計画です。

「誰もが安心して暮らせるまち港北」を実現させるためには、住民のみなさんの意見をしっかりと反映させた計画にしなければなりません。

そこで、6月に連合町内会エリアごとに連合町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、活動団体など多くの方で組織される地区別計画づくりのための委員会を作りました。

この委員会で、これまでの活動を振り返り、次に向けて

何をすべきか検討するために話し合いを重ね、地区別計画を作りました。地区別計画の愛称も、住民のみなさんが愛情こめて名づけました。

そして12月にできあがった素案を区内の施設などで配布し、住民のみなさんからご意見をいただいています（意見募集期間：平成22年12月15日～平成23年1月31日）。

こうして、この計画の最大の特徴である「港北区にお住まいのみなさんが作る計画」が3月末で誕生します。

「ひっとプラン港北」は、平成23年度から5か年に渡って進めていきますが、その間も、1年ごとに達成状況を確認し、必要とあれば修正・追加して改善していきます。

推進の3つの柱

地域の生活課題により一層きめ細かく対応するため、3つの柱を中心に計画を推進します。



ひろがる
地域の福祉保健活動の新たな担い手をひろげます。また、高齢者や障がいのある方に対する理解をひろげ、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

つながる
まちを知り、住民同士が交流することで、支援を必要としている人に気付くきっかけが生まれます。地域の活動団体がネットワークを構成し、いざという時にお互いに助け合うことができる関係を築きます。

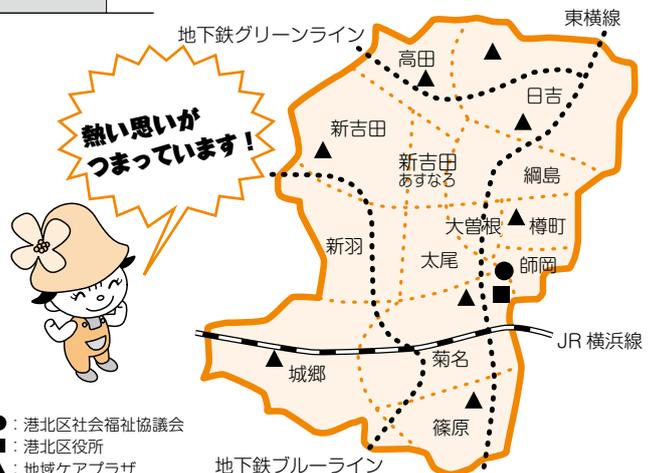
とどく
あいさつなどを通じて、互いに支えあう関係を築くことで、孤立防止、虐待予防・早期発見など支援の手が届く仕組みを作ります。また、支援が必要な人に必要な情報・サービスが的確に届く仕組みを作ります。



「ひっとプラン港北」は、公募によって決定された愛称です。「ひっと」は、推進の3つの柱である「ひろがる」「つながる」「とどく」の頭文字をとって名づけられました。

13地区の計画

	愛称
日吉	光と活力に満ちあふれる日吉 一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち
綱島	元気でふれあうまち 綱島
大曽根	ハートフル大曽根
樽町	思いあいのまち樽町
菊名	みんなで支えあうまちづくり
師岡	わが町師岡 安全・安心・住みよい町づくり
太尾	「あいの町太尾」 ふれあい・支えあい・助けあい
篠原	「わがまち篠原」
城郷	たすけあうまち城郷
新羽	「和・輪・話」のまち にっば 平和・福祉の「和」、みんなが手をつなぐ「輪」、みんなが話し合う「話」
新吉田	いいな！みんなのまち新吉田
新吉田 あすなる	もっと・ホットに「あすなる」
高田	みんなが笑顔、助け合いのまち高田



お住まいの地区でも計画が作られているので、区のホームページなどで是非ご覧ください。 [ひっとプラン港北 素案](#) [検索](#)

区内の市民団体が日吉に集合しました！

“地域のチカラ応援事業・イキイキ！活動交流会！！”開催

市民活動団体の交流する場“イキイキ！活動交流会！！”

平成22年12月11日に、“地域のチカラ応援事業”に応募している団体による、地域活動の発表会“イキイキ！活動交流会！！”を慶應義塾大学の来往舎シンポジウムスペースで開催しました。

当日は、発表団体、事業参加団体の他に、地域住民や各種活動団体の方々の来場もあり、会場内は活気にあふれました。また、発表終了後に質疑応答の時間も設け、活動を継続して行うための質問（企業協賛・会

員募集・広報の方法など）に、解決に向けたヒントが会場内からいろいろ出ていました。その他会場には、展示や談話スペースを設け、“地域のチカラ応援事業”の団体と各種活動団体との活動の輪を広げてもらえればと交流会を実施しました。

参加された方々からは「他の団体と連携を取りたいがなかなか場がないため、今回の様な交流会は大変いい機会でした」との声が多くありました。



活気あふれた交流会

* 3月12日(土)は最終報告会を慶應義塾大学の来往舎シンポジウムスペースで開催

地域のチカラ応援事業とは・・・？

区内の地域の課題解決や地域住民のための活動を自主的・主体的に行おうと思っている団体を応援するために、平成22年度から“地域のチカラ応援事業”を開始しました。

団体の活動実績や事業内容の違いに応じて、「課題解決コース」「スタートアップコース」の2つのコースを設け、補助金を交付しています。

本年度は、“50団体”が補助金の交付を受け活動を行っています。



★団体の事業活動をホームページで紹介★

港北区地域のチカラ紹介

検索

☆より良い地域になるよう奮闘しています☆

地域にお邪魔した際は、お声をかけてください！

日頃地域の方々と接することが多い課の職員をインタビュー形式で紹介します！

今回は、高齢・障害支援課高齢者支援担当の保健師・新倉小夜子です。

担当地域：篠原地区の一部（篠原町、篠原西町、篠原東、篠原台町、仲手原）

Q 保健師は日頃、どんな仕事をしているんですか？

A ご家庭に訪問して療養上の相談を受けるほか、様々な地域の活動（老人クラブや地域サロン、介護予防の団体など）に出向いて健康面のお話や運営上のご相談に応じています。

また、関係機関（医療機関や地域ケアプラザ、介護保険の事業所等）と連携し、地域の皆さんがより安心して、元気に過ごせるための仕組みづくりのお手伝いをしています。（「ひっとプラン港北」、高齢者虐待防止連絡会、認知症連絡会等）

最近、認知症の方が増加していることから、認知症のご本人とご家族への支援方法についての相談などが多くなってきています。もし、認知症の事でお困りの方がいらっしゃいましたら、是非区役所や地域包括支援センターまでご相談ください。



今回は高齢・障害支援課の保健師の紹介をしましたが、区役所内には3課6係に保健師がいます。赤ちゃんから高齢者までの全ての区民のみなさんの健康や暮らしの応援隊である保健師に、区役所にお越しの際や地域でお会いした時などには気軽にお声をかけてください。

地域の防災活動

地域の安全・安心は地域で守る！

港北区の各地域には、地域の防災力として家庭防災員や消防団がいます。

家庭防災員は、消防署で行われる研修などに参加し、身につけた防災の基礎知識と技術を活かし、それぞれの家庭の安全安心を守っていくとともに、ご近所に防災の輪を広げ、港北区の安全と安心を高めています。

港北区は横浜市内でもっとも家庭防災員数が多く(約17,000人)、活動も盛んに行われています。

消防団は、普段本業の仕事を持っている団員により構成され、火災発生時や大規模災害発生時に公設消防機関のほかに地域を守る消防機関です。

また、災害発生時以外にも、訓練や応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動など、地域における消防力・防災力の向上や地域コミュニティの維持・振興において重要な役割を担っています。

地域の力で重要文化財を火災から守ります！

文化財防火デー・西方寺防災訓練
平成23年1月26日

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺の金堂が炎上したことを契機に文化財保護の一環として、昭和30年に定められました。

港北区では毎年1月26日に西方寺(新羽町2586番地)の防災訓練を行います。

西方寺は国や県の重要文化財、市の指定文化財などを多数所蔵する寺院で、開祖は源頼朝公といわれ、御本尊は阿弥陀如来坐像、その他、横浜七福神の恵比寿大神を祀っています。

防災訓練は、住職の見守る中で行われる、檀家による初期消火や重要文化財の避難、港北消防署と港北区消防団による放水活動などを行います。



西方寺へ放水中

“大倉山観梅会”前に、大倉山公園まめ知識



植物に詳しい石橋さん

春の恒例行事となった“大倉山観梅会”が、2月19日(土)・20日(日)に開催されます。

会場は、公園内にある梅林で、公募団体などによるステージイベントの他に、野点、写真展、梅

酒「梅の薫」の販売、地元商店街の食品販売等が行われる予定です。その前に公園まめ知識！公園内の植物に詳しい環境創造局北部公園緑地事務所大倉山詰所職員・石橋さんにお話を聞きました。

Q 公園内の梅の木の品種と本数はどれくらいですか？

A 32品種、200本です。昨年の猛暑の影響で例年より2週間早く咲きました。

Q 梅の収穫量はどれくらいですか？

A 配属になった2年前は300kgでしたが、昨年は1200kgに増加しました。梅の木の「芽の法則」(果樹毎に法則がある)にしたがい剪定をしたことで、増加に繋がりました。

Q 珍しい植物は？

A ヤドリギです。これはサクラなどの木から養分を吸って成長する木です。実がなると、キレンジャクやヒレンジャクが飛来します(一昨年に過去最高で15羽飛来)。他には黄色のツリフネソウです。

Q 地域と連携していることは？

A 大綱・大曾根・太尾小学校から依頼があり、梅についての講義(年7回)をしています(社会科・生活科の授業)。公園愛護会と共にアジサイの挿し木の仕方などの指導を通し公園の花植えを行い、また大倉山公園周辺で活動している自然観察会と共に公園内の生き物を観察し、記録をしています。



珍しい“ヤドリギ”

☆空気が澄んでいる日は事務所のそばに、東京スカイツリーが見えるポイントがあります！